

2017年3月22日

京王プラザホテル ニュースリリース

観世喜正氏による能「羽衣」の実演と解説
 そして3つのレストランから選べるお食事
 「能と美食を楽しむ午餐会」開催
 6月13日（火）

京王プラザホテル（東京：西新宿、社長：山本護）は6月13日（火）に5階/宴会場<エミネンスホール>において能楽師 観世喜正氏（観世九臈会）による能「羽衣」の実演と解説、そしてレストラン3店舗から選べるお料理がお楽しみいただけるイベントを開催いたします。ホテルのロビーでは6月1日（木）から6月29日（木）まで、国立能楽堂の協力を得た特別展示も実施する予定で、能「羽衣」にちなんだ能面や能装束等の展示も合わせてご鑑賞いただくことができます。



能「羽衣」は、富士山を遥かに望む三保の松原を舞台に古代から伝えられる羽衣伝説をもとにした演目で、能の中でも最も親しみやすい人気曲の一つです。漁師 白龍がある日仲間と釣りに出かけ、松の枝に掛かった美しい衣を見つけ家宝にするため持ち帰ろうとしたところ、天女が現れてその羽衣を返して欲しいと頼みます。白龍ははじめ返すことをしぶりますが「衣がないと天に帰れない。」と悲しむ天女の姿に心を動かされ、天女の舞を見せてくれたら衣を返そうと言います。羽衣がなくては舞えないという天女に、羽衣を返したらそのまま帰ってしまうのではと白龍は疑いますが、それは下界の人間のすることで天女に偽りはないと諭され、白龍はやましい自らの心を恥じて羽衣を返すという物語です。羽衣をまとった天女が美しく舞う終盤の場面が見どころで、月の都の様子や春の三保の松原を賛美しながら舞い続けやがて彼方の富士山へ舞い上がり、霞にまぎれて消えていく様子を演じます。

観世喜正氏は観世流シテ方で、三世観世喜之氏の長男として矢来能楽堂（新宿区）を本拠地に幅広く活躍されています。札幌から長崎まで国内十数か所で「能」の指導にあたる一方、東京を中心に全国や海外の公演にも多数出演し、講演など「能」の普及活動にも積極的に取り組んでいらっしゃいます。

京王プラザホテルでは、世界100ヶ国以上からお客様をお迎えする国際的シティホテルとして、これまでも「有田焼」や「ひなまつり」「富士山」など日本の文化発信に重点を置いたイベントを数々開催してまいりました。継承されている演劇としては「世界最古」といわれる日本独自の舞台芸術で、ユネスコの無形文化遺産に登録された「能楽」にスポットをあて、ご来館の国内外のお客様にその素晴らしさをお伝えしてまいります。

■「能と美食を楽しむ午餐会」 ※要予約

日 時：2017年6月13日（火）（11:00a.m.～受付）

11:30a.m.～能楽鑑賞 1:15p.m.～お食事

場 所：5階/宴会場<エミネンスホール>

お食事：和食<かがり>、中国料理<南園>、
フレンチ&イタリアン<デュオ フルシェット>

料 金：17,000円（能楽鑑賞、料理、ワンドリンク、サービス料・税金込）

出 演：観世喜正氏〔観世九臈会〕（写真右）ほか



◎お問合せ・ご予約/（03）3344-0111【レストラン予約直通】

*6月1日（木）から6月29日（木）まで、特別展示「ホテルで楽しむ日本文化～能・雅を継ぐもの」（協力：国立能楽堂）を開催いたします。

本件に関するお問合せ先：
 株式会社京王プラザホテル 営業戦略室 企画広報 斎藤 潤子・大塚 智生・石川 綾子・佐藤 亜紀
 〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1
 T e l 03-5322-8010 F a x 03-3346-2479
<http://www.keioplaza.co.jp>